

# 半導体漫遊記

湯之上隆

(127)

英オックスフォード大学のマイケル・A・オズボーン准教授は、2013年に公開された論文「雇用の未来」の中で、「人工知能やロボットが普及すると、人間の行う仕事の約半分が機械に奪われる」という衝撃的な予測を発表した。

した。その理由を以下に述べる。

この病院は、昨年末に建て替えられ、今年1月から営業を再開したばかりだった。そして、そのリニューアルの際、最先端のITシステムを導入してい

## 10年後に医者とは失業

### 人工知能やロボット普及で

その論文の中で、「消える職業」「無くなる仕事」の確率が高いものの一部を、表1に記載する。果たしてあなたの仕事は、大丈夫だろうか。

ところで私は、2月8日の午後に突然、激しい嘔吐と下痢の発作

表1 「消える職業」「無くなる仕事」

銀行の融資担当者
スポーツの審判
不動産ブローカー
レストランの案内係
保険の審査担当者
動物のブリーダー
電話オペレーター
給与・福利厚生担当者
レジ係
娯楽施設の案内係、チケットもぎり係
カジノのディーラー
ネイリスト
クレジットカード申込者の承認・調査を行う担当者
集金人
弁護士助手
ホテルの受付係
電話販売員
仕立屋(手縫い)
時計修理工
税務申告書代行者
図書館の補助員
データ入力作業員
彫刻師
苦情の処理・調査担当者
簿記、会計、監査の事務員

た。そして、嘔吐と下痢が治まるまで、丸々1週間の入院を余儀なくされた。

この入院中に、オズボーンの論文を思い出し、「10年後に医者は失業するだろう、しかし看護師の仕事は無くならない」ことを確信した。

例えば、看護師の私のみ取る。すると、このコンピュータには、「湯之上に点滴をせよ」というような主治医の指示が表示される。

「コードリーダーで読みに点滴のバーコードをみ取る。すると、この読み取ってから、私にその点滴を施す。これらの処置は、全てオンライン上のデータとして、医者などの関係者が確認できるようになっている。」

つまり、医者の指示状況を問診により確認し、コンピュータ

「看護師に指示を出す主治医は、人間の医者である必要はない、私は入院中に悟った。病気の症例に関する十分なデータベースとそれを基に判断する人工知能があれば、人間の医者は不要である。恐らく、10年後には医者のほとんどが失業するだろう。」

（微細加工研究所・所長）

經由して行われ、看護師はその指示に従って処置を行い、その記録は全てオンラインデータになる。そのとき、看護師は同時に患者の容体についてもコンピュータに打ち込む。そして、主治医の回診は退院まで、何と一度も無かったのである。

「看護師に指示を出す要である。ロボットが代行できるとは思えない。何より、患者に直接触れて、「昨日より良くなったね、もう少しだから頑張っ

長)